

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年10月18日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 体内受精の進化を解き明かす鍵となる新規精子運動調節たんぱく質を発見
2. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組と今後の展開
3. 若手研究者のための機能性材料シンポジウム2016を開催します
4. 山形・ポローニャ戦略的文化交流プロジェクトについて

お知らせ

1. 株式会社山形新聞と山形大学との協定締結について
2. NASA/MSFCとの国際共同研究がJAXAに承認されました
3. 日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2016特別講演・市民講座
4. 山形大学保健管理センター公開講座の開催について
5. 地域教育文化学部音楽芸術コース音楽研究会「第67回定期演奏会」を開催します
6. 第6回安達峰一郎記念世界平和弁論大会の開催について

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成28年11月1日(火)11:00～11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(10月18日)発表者

1. 体内受精の進化を解き明かす鍵となる新規精子運動調節たんぱく質を発見

学術研究院 教授(生殖生物学)

わたなべ あきひこ
渡邊 明彦

2. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組と今後の展開

学術研究院 准教授(男女共同参画推進室)

きむら まつこ
木村 松子

3. 若手研究者のための機能性材料シンポジウム2016を開催します

学術研究院 助教(金属錯体化学)

いしぎき まなぶ
石崎 学

4. 山形・ポローニャ戦略的文化交流プロジェクトについて

附属博物館学芸研究員/学術研究院講師

さとう こと
佐藤 琴

平成28年10月18日
山形大学

体内受精の進化を解き明かす鍵となる 新規精子運動調節タンパク質を発見

本学 渡邊明彦教授（生殖生物学）、渡辺絵理子准教授（発生生物学）、越智陽樹准教授（機能ゲノム学）、中内祐二助教（生化学）の研究グループは、両生類において、体外受精から体内受精へ、受精様式の進化を解き明かす鍵となる新規精子運動調節タンパク質を発見しました。

➤ 研究背景

体内受精は陸上環境に適応して子孫をつくるために適した生殖様式で、ヒトを含めた陸生の脊椎動物が共通して行います。脊椎動物の進化において陸上進出を果たした両生類では、体内受精は淡水中の体外受精から進化しました。両生類の体外受精では精子は淡水に触れることで運動を開始しますが、精子が淡水に触れることがない体内受精では精子を動かす独自のメカニズムが必要です。これまで、このメカニズムの解明が体内受精の進化を解き明かす鍵となると考えられてきました。

➤ 研究概要

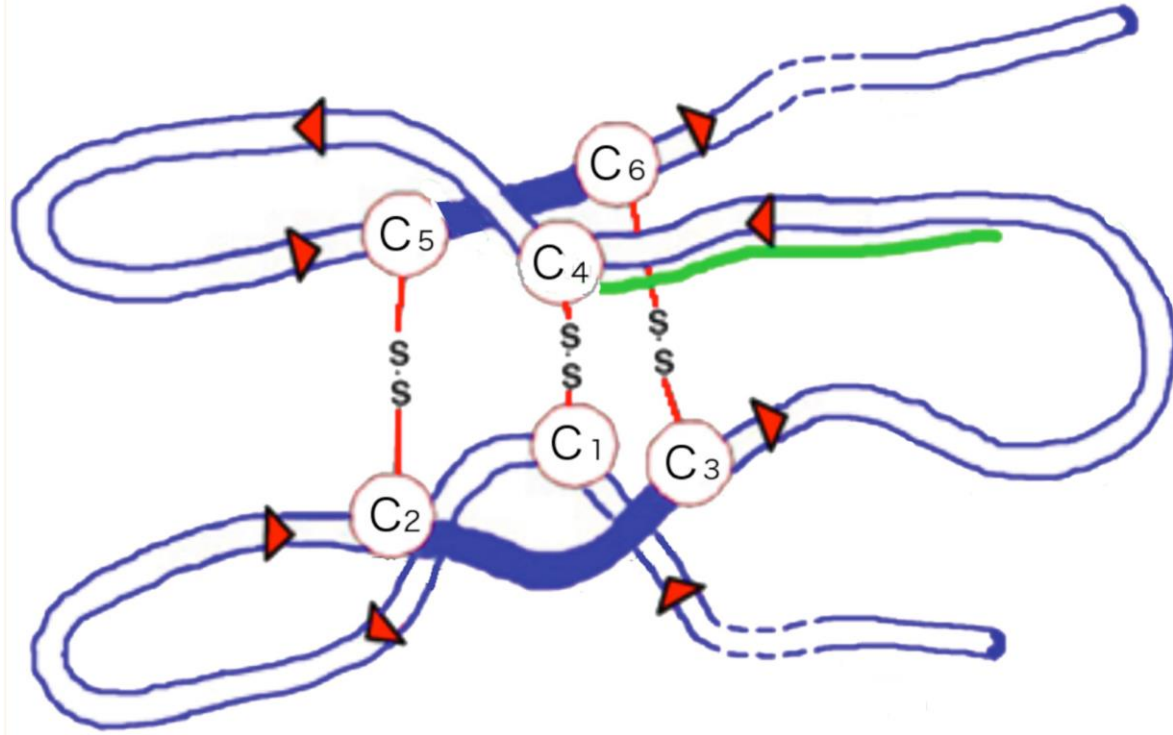
同研究グループは、体内受精種であるアカハライモリの卵外被から精子運動開始因子（Sperm Motility Initiating Substance; SMIS）を分離し、150アミノ酸からなる新規システインリッチタンパク質をSMISとして同定しました。SMISは体外受精種2種（モリアオガエルとヒキガエル）でも、淡水に触れて運動を開始した精子に作用して運動状態を活発化したことから、体外受精で機能するSMISが、淡水の作用とは独立に機能するようになったことが体内受精の成立の一因となったと推察されます。

SMISが開始・活発化させる精子運動は、回転運動や螺旋運動など、動物種によって異なるユニークなもので、卵外被のマトリクスの通過に特化しています。卵外被マトリクスもまた、種によって性質や形状が大変異なり、体内や体外の様々な生殖環境に適応して受精や受精後の胚発生を保証しています。これらの事実から、両生類の生殖様式は、生殖環境に適応した卵外被マトリクスの変化と、変化したマトリクスを通過して受精するために適した運動を示す精子の選択によって多様化し、体内受精が最終的に進化したと考えられます。 PLOS ONE 11: e0160445 (2016).

➤ 成果の社会に対する影響と今後の展望

近年、体外受精や顕微受精による生殖補助医療の利用が年々増加していますが、動物の受精において、環境に適応して精子が選択されるという現象は一般にほとんど認知されていません。今後、そのメカニズムの研究と平行して、ほ乳動物においても同様の現象が起こるのかを慎重に検討し、生殖医療への貢献につながることを期待されます。

（お問合せ先）
学術研究院・教授
渡邊明彦（生殖生物学）
電話 023-628-4619



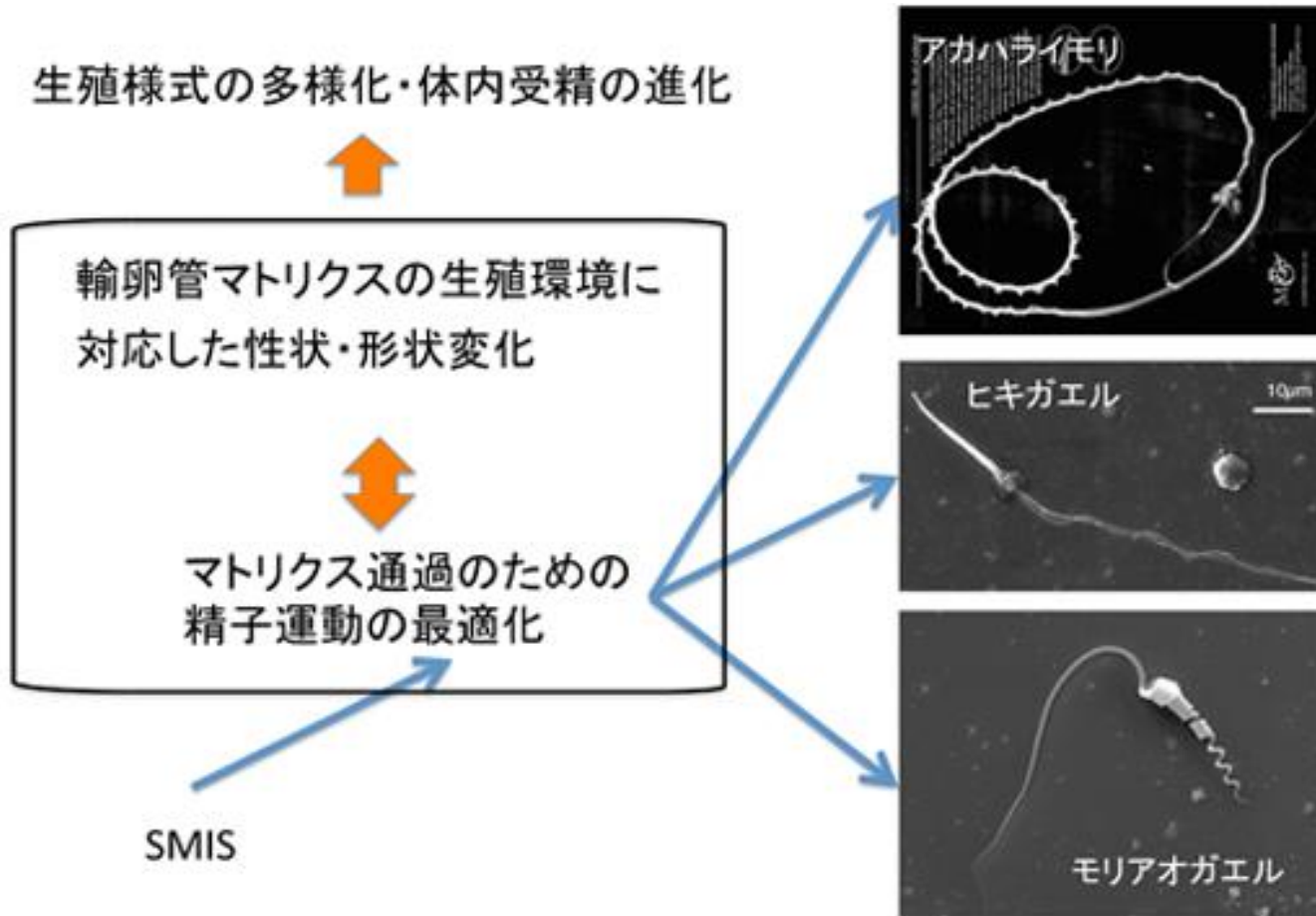
Sperm Motility Initiating Substance (SMIS)の模式図

6つのシステイン残基が規則的に結合したシステインノットドメインをもつ。
緑色で示した部分は精子の運動開始・活性化作用がある活性部位。



両生類種の様々な卵外被

モリアオガエルの泡巣(左上)、アカハライモリ(右上)、アズマヒキガエル(左下)、クロサンショウウオとトウホクサンショウウオ(右下)のゼリー層



両生類の受精様式の多様化に関連した精子運動の最適化モデル

卵外被マトリクスの性状変化が多様な受精環境への対応を可能にし、SMISに誘導される運動を介した精子の適応的選択により、変化したマトリクスを精子が通過し、受精することを保証する。その結果、精子の形態や運動が種ごとに特殊化する。

平成28年10月18日
山形大学

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組と今後の展開

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の採択を受けて2年目を迎えました。3機関（山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学）による支援制度の整備と女性代表による共同研究が進んでいます。その成果を合同シンポジウムで報告します。

誰にとっても快適で豊かな未来の生活を実現するための「有機エレクトロニクス・健康・栄養」を柱とした女性を代表とする共同研究が10件成立しました。また、大日本印刷株式会社企画のサービスデザインによる研究開発も進んでいます。女性の研究力向上による上位職者の増加や優れた女性研究者の採用に努めています。山形大学女性教員比率は昨年5月1日の13.2%から10月1日現在15.0%へと1.8ポイント上昇しました。

これらの成果報告と大学・企業・地域における女性の活躍・共同研究の拡大に向けた連携の促進を願ってシンポジウムを開催します。

11月1日（火）（託児申込は10月24日まで）までにFAX、電話、メールでお申し込みください。当日参加もできます。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日 時： 平成28年11月11日（金）13：30～16：30

場 所： 伝国の杜 大会議室（米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-8000）

内 容： 1. 基調講演：宮浦 千里氏（東京農工大学副学長・教授）

演題：「女性研究者が活躍できる環境とは～女性研究者支援の今後の課題～」

2. 提案講演：城戸 淳二（山形大学卓越研究教授）

演題：「有機エレクトロニクスが創る快適で豊かな未来の生活」

3. 共同研究成果発表：宮 瑾（山形大学学術研究院助教）

大和田浩子（山形県立米沢栄養大学教授）

4. サービスデザインプロジェクトの報告：大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部

5 研究への講評

（お問合せ・申込み先）男女共同参画推進室米沢分室

TEL：0238-26-3356/3359 FAX0238-26-3398

Email：y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL：<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/diversity/>

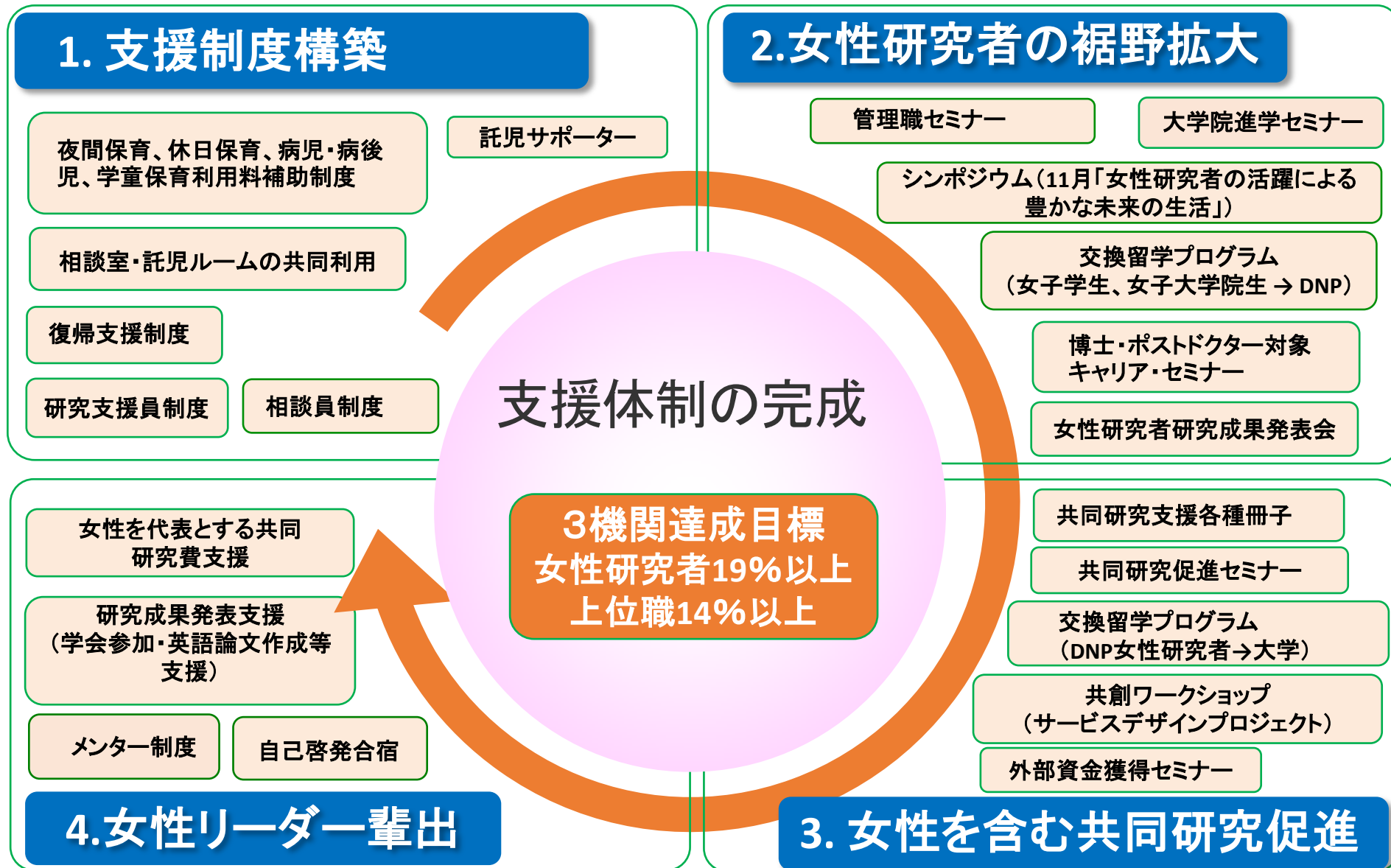
学長定例記者会見
平成28年10月18日(火)

有機エレクトロニクスを活用した 未来の生活創造への女性の参画

— 山形大学 ・ 大日本印刷 研究開発センター ・ 山形県立米沢栄養大学 —

目次

- 1 3機関による事業
- 2 平成28年度の実績
- 3 サービスデザインプロジェクト
- 4 支援対象研究・件数
- 5 研究支援対象者の成果
- 6 各機関の女性研究者の在職比率
- 7 ダイバーシティ事業のロードマップ



1. ダイバーシティ研究環境整備

WLB管理職研修

3機関の管理職を含む65人参加



山口一男氏(シカゴ大学)

託児サポーター
認定証授与式

英語プレゼンセミナー

3機関合計91人参加

自己啓発合宿
(プレゼンセミナー)
16人参加交換留学
(企業⇔大学)

4. 研究力向上・上位職育成

2. 有機エレクトロニクス実証実験の促進



スマート未来ハウス

サービスデザイン
プロジェクト

ワークショップの様子

未来のキッチンの開発

COI×ダイバーシティ
ジョイントミーティング

女性研究者研究成果発表会

大学・高校・
企業・地域から
47人参加

減塩食の試食

3. 地域連携の促進

3 サービスデザインプロジェクト

共同研究の推進

テーマ

健康・栄養・有機エレクトロニクスを3つの柱にした女性にとって快適で豊かな未来の創造&実現

KEY 1

プロジェクト主体者は?

3機関の女性研究者がプロジェクトリーダー

KEY 2

“サービスアイデア”とは?

山形の女性にとって快適で豊かな生活のアイデア & 3機関の女性研究者の保有スキルが活かせるアイデア

KEY 3

これからの“共同研究”とは?

1つのプロダクトを共に作るだけでなく... 生活者が求める“体験価値”を叶えるサービスやプロダクト群を包括的に捉え共に創る

フェーズ1 平成27年 10月～

理想の共創型プロセス開発

デザインブリーフ



デザインPJ計画 → 領域探索 → 気づきを発見 → 発案

NOW

実施PJ計画 → 体験価値の検証 → あたり実験ソフトのα版開発 → サービス提供者との連携

サービスリリースを目指す

フェーズ2 平成28年 4月～

サービスアイデアの創出

サービスアイデア

フェーズ3 平成28年 10月～

サービスアイデアの実践

サービスプロトタイプ

体験価値の検証

実証実験

GOAL

健康・栄養・有機エレクトロニクスを3つの柱にした、女性にとって快適で豊かな未来の実現を通じて、女性研究者の研究力向上と視野拡大を目指す！

4

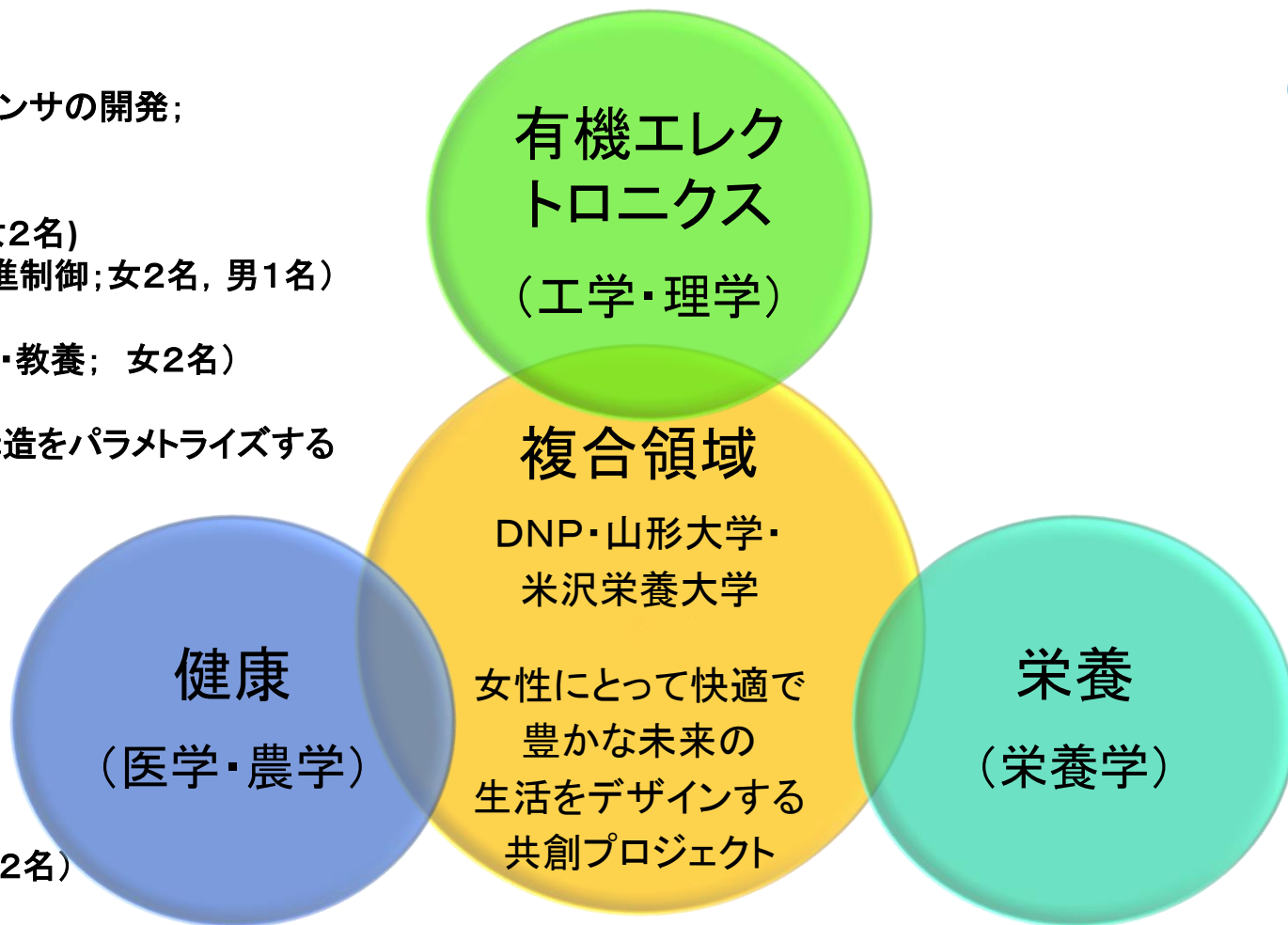
支援対象研究・件数 (H27採択8件・H28新たに4件 計12件)
 (女性代表共同研究10件とライフイベントからの復帰支援2件)

5件

- ・有機エレクトロニクス
 (フレキシブルストレスセンサの開発;
 女2名, 男3名)
- ・ものづくり技術
 (ゲル新素材の開発; 女2名)
- ・バイオ科学 (肺発生促進制御; 女2名, 男1名)
- ・情報・電子工学
 (AI時代求められる学力・教養; 女2名)
- ・数理学
 (アモルファス・準結晶構造をパラメライズする
 方法; 女1名)

2件

- ・農学
 (女性の生殖寿命の向上
 を目指す研究; 女2, 男2名)
- ・医学
 (病院内表示の開発; 女4名, 男2名)



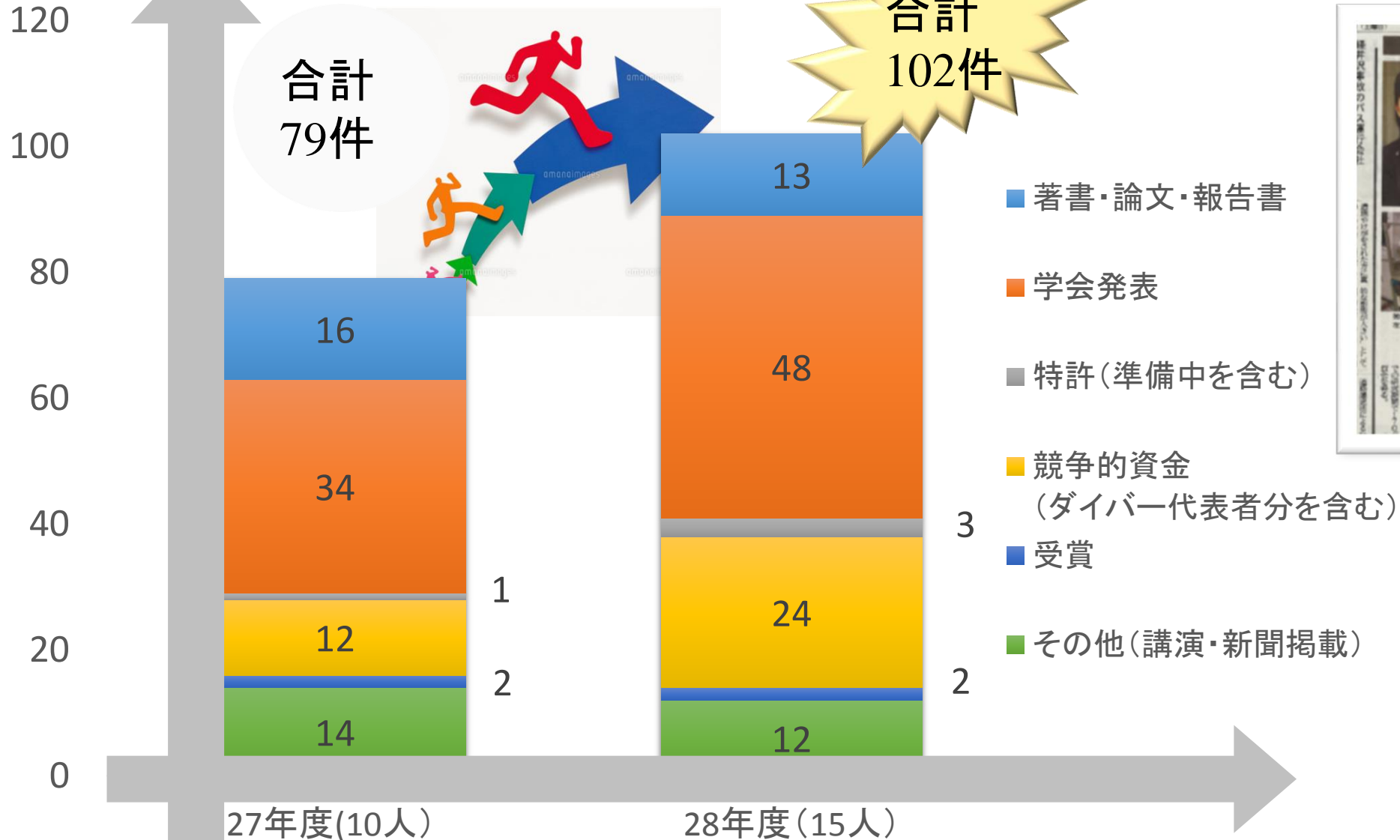
5件

- ・可食インクを用いた、見て楽しい食材
 の開発(女2名)
- ・身体障がい者の骨密度(女3名, 男1名)
- ・身体活動量と骨量等身体組成の相互
 関連性(女2名)
- ・モバイル型食品物性評価ツールの開
 発(女4名, 男5名)
- ・食物アレルギー教育開発(女1名)

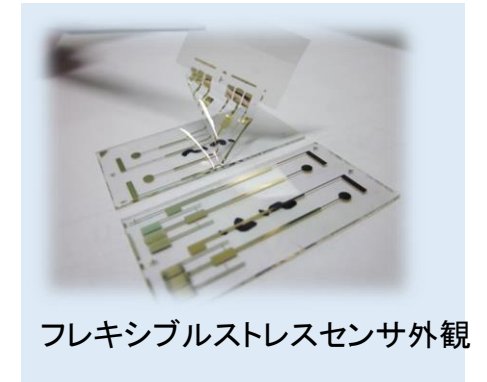
5

研究支援者の成果(著書、論文等) UP!

研究支援者=3機関の女性研究者



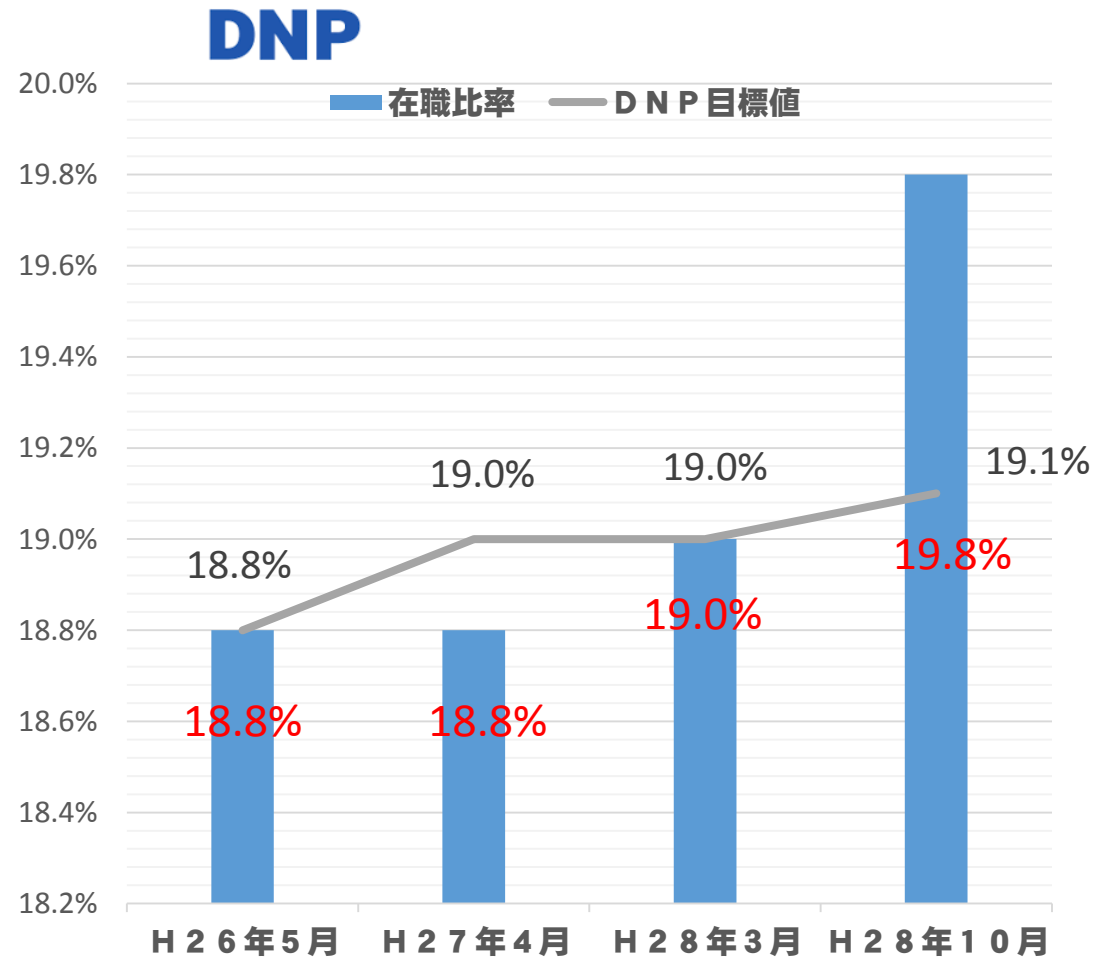
泉准教授の研究成果



フレキシブルストレスセンサ外観

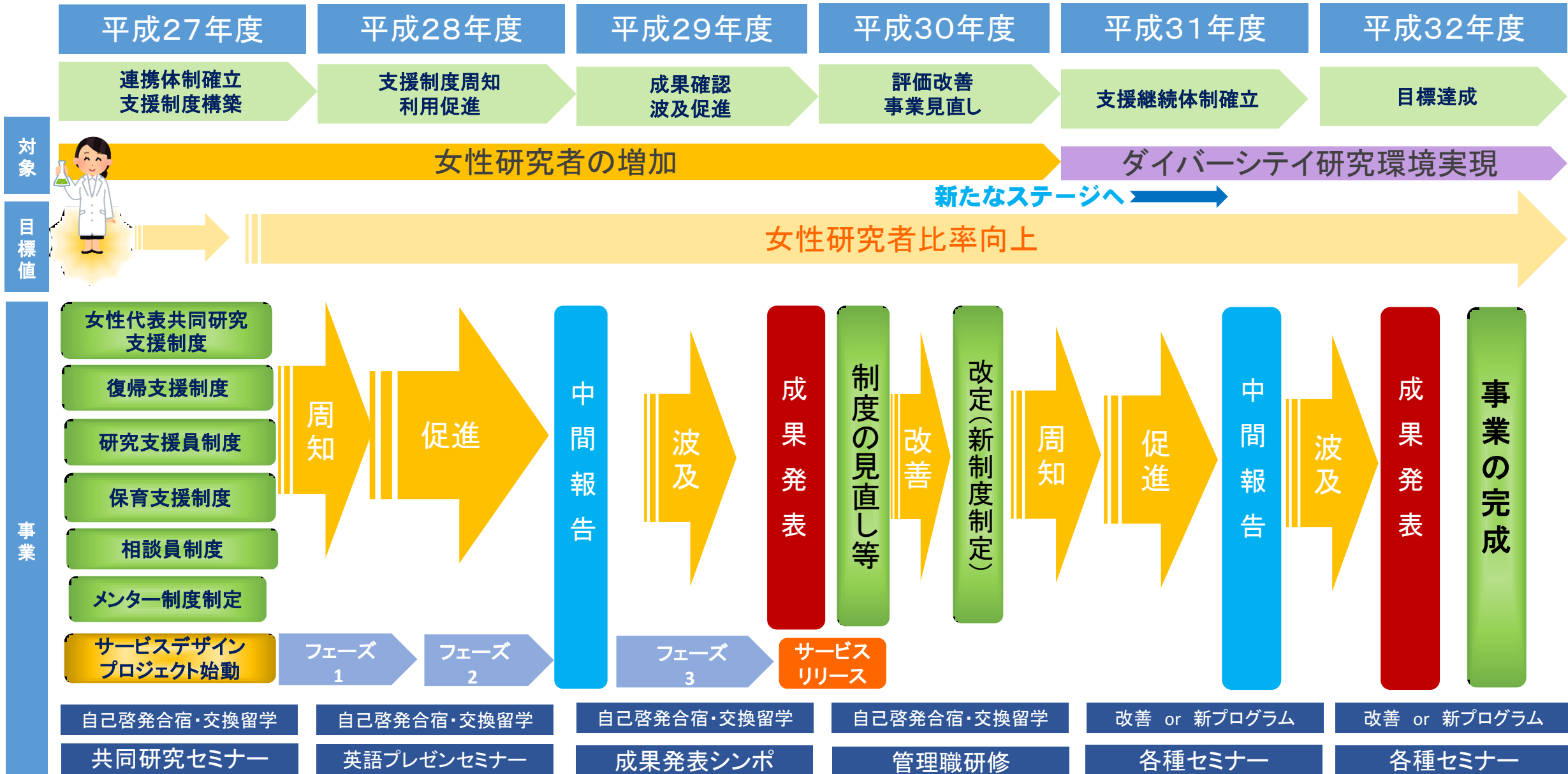
6

各機関の女性研究者比率 UP!



米沢栄養大学は、H26年度開学後のAC(アフターケア)期間、4年間は新規採用を行わない。

ダイバーシティ事業のロードマップ





文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)
山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学

大学・企業・地域の共同研究に向けて

女性研究者の 活躍による 豊かな 未来の生活

2016
11月11日 金
13:30-16:30

伝国の杜
大会議室(2F)



無料 どなたでも参加自由です。
※要申し込み。
詳しくは裏面をご覧ください。

基調講演 ● 13:45 ~

「女性研究者が
活躍できる環境とは
-女性研究者支援の今後の課題-」

講師：宮浦 千里 氏
東京農工大学副学長・教授



提案講演 ● 14:45 ~

「有機エレクトロニクスが創る
快適で豊かな未来の生活」

講師：城戸 淳二
山形大学卓越研究教授



成果発表 ● 15:15 ~

女性代表
共同研究成果発表

「鮮度保持用自己湿度管理と保冷機能を持つゲル素材」
山形大学学術研究院 助教 宮 瑾

「身体障がい者の骨密度の分布と関連要因に関する検討」
山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部長・教授 大和田浩子

サービスデザイン
プロジェクトの報告

「~女性にとって『快適で豊かな未来の生活』をデザインする~
プロジェクトの活動概要と経過報告」
大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部
松尾佳菜子・松田久仁子

問合せ・申込み先

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室米沢分室 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学工学部
TEL:0238-26-3356/3359 FAX:0238-26-3398 E-mail:y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：国立大学法人山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学 共催：大学コンソーシアムやまがた 後援：山形県・米沢市

開催趣旨

山形大学を代表機関とし、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学との連携による文部科学省「科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の採択を受け、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」をテーマに、三機関はダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでいます。

この度、女性研究者による「有機エレクトロニクス・健康・栄養」を柱とした快適で豊かな未来の生活を実現するための研究・開発の成果を報告し、女性研究者たちと企業・地域との共同研究・開発の端緒を開きたいと考えております。また、本事業の中間報告を行い、その成果を示します。

講演には、グローバルリーダーとして活躍する方々を講師に迎え、女性リーダーの育成とその環境創りについて、また、誰にとっても快適で豊かな未来の生活を実現するための有機エレクトロニクス研究についてご講演を頂き、本事業への一層の理解と活躍促進を図ります。

交通のご案内

伝国の杜

〒992-0052
山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8000

- JR米沢駅から2km 上杉神社(米沢城跡)隣接。
- 駐車場有り(120台分)、料金は無料。



申込締切：2016年11月1日(火) 必着

※託児の締切は、10月24日(月)

参加申込書

下記の連絡先等をご記入の上、このままFAXしてください。
(選択項目はレ点チェックをご記入ください。)

FAX:0238-26-3398

お名前			
ご住所	〒 -		
電話番号		メールアドレス	
所属			
情報交換会への参加	情報交換会 / 17:00 ~ 18:30 場所 / 上杉城史苑(伝国の杜となり) 参加費 / 4,000円	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加
本事業のイベント情報の配信	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	
託児を希望する場合は、下記の項目もご記入ください。			
お子様の名前 <small>ふりがな</small>	年齢	歳 ヵ月	その他、託児における要望など
性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	アレルギー <input type="checkbox"/> あり <small>アレルギーの種類</small>	<input type="checkbox"/> なし	

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、本事業の案内を希望された方に対してのみ、使用いたします。
※託児の定員は5名とさせていただきます。

電話・メールでも受付可

問合せ・申込み先

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室米沢分室

TEL:0238-26-3356/3359 FAX:0238-26-3398 E-mail:y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 ダイバー

検索

平成28年10月18日
山形大学

「若手研究者のための機能性材料シンポジウム2016」を開催します

12月8日（木）-9日（金）山形大学小白川キャンパスにおいて「若手研究者のための機能性材料シンポジウム2016」を開催します。このシンポジウムは、機能性材料をキーワードとして活躍されている新進気鋭の若手研究者が集って研究内容を発表・議論し分野の枠組みを超えて交流することを目的としています。

このシンポジウムを通して、新たな発想・協力体制が生まれ、今後の科学技術を支える科学技術の芽が芽吹くことを期待しています。

▶ 機能性材料とは

私達の暮らしをより豊かにするためには、電気・光・磁気・熱などの物理的特性に優れ、エネルギー消費量が少なく、人や環境にもやさしい材料が必要です。また、社会全体のシステムを変革するような大きな動きを引き起こすには、外的な刺激に対して物理的・化学的特性の劇的な変化を示す材料や互いに影響を及ぼし合う仕組みを構築できる材料が必要です。そんな材料のことを私たちは機能性材料と呼んでいます。

▶ シンポジウムについて

フォトニクス材料・錯体化学・放射光科学の分野で活躍する新進気鋭の若手研究者が山形に集って最先端の研究成果を発表します。その斬新な発想の下で展開される研究には学ぶことも多く、皆さんの研究を活性化するアイデアやヒントを見いだせる契機になると期待され、お互いに切磋琢磨する刺激にもなりうるのではないのでしょうか。一般講演とポスター発表を受け付けていますので、「我こそは」と思う若手研究者、「研究成果にアドバイスがほしい」とお考えの学生・大学院生からの申込みをお待ちしています。参加無料ですので、ふるってご参加ください。

※なお、このシンポジウムは、山形大学「放射光で切り拓く地域創生研究拠点」YU-COE(C)によるサポートを受けています。

(問合せ先)

学術研究院・助教 石崎 学（金属錯体化学）

Tel 023-628-4478

E-mail manabu-ishizaki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

※用語解説

- フォトニクス材料；熱・電気などのエネルギーを光に変換、またはその逆の変換など、光に関係する機能を持つ材料を示す。この材料を使うことによって、LEDなどの発光素子(電気→光)や光センサ(光→電気)などを作ることができる。また、人間の目で見ることのできない紫外線などの光も可視光に変換(光→光)することができる。フォトニクス材料には、紙幣偽造防止(発光)や誘導標識(蓄光)など生活には欠かせないものも多い。
- 錯体化学；金属に有機分子や低分子(配位子)が結合することで、様々な構造・機能を発現する。組合せによって無限の構造・機能を生み出すことができる。光や色、磁性など材料科学だけでなく、生体酵素などの生化学など多岐にわたる分野で不可欠な研究分野である。
- 放射光科学；荷電粒子の運動によって放出されるシンクロトロン放射光は、ガンマ線から赤外線まで連続して分布したスペクトルを示す。その光は、輝度が高く指向性にも優れており、物質や材料の状態や構造などの化学分析を行うのに適している。近年、こうしたシンクロトロン放射光を基礎科学や産業応用に利用した研究分野が国内外で開拓され、放射光科学と呼ばれている。日本国内ではSpring8をはじめする大型放射光施設が8か所あり、分野を問わず多くの研究者に利用されている。

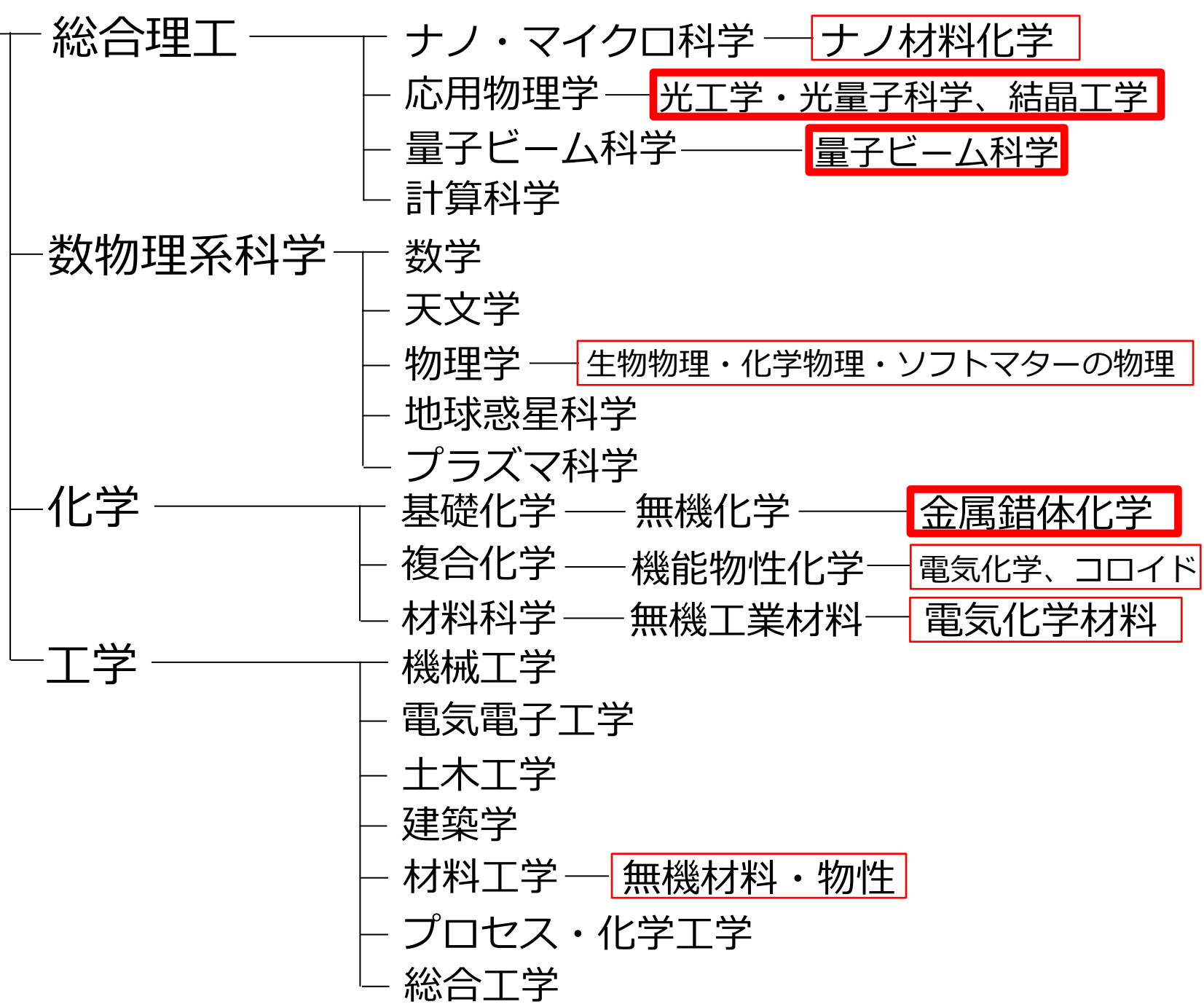
若手研究者のための機能性材料シンポジウム2016

12月8日（木）-9日（金）山形大学小白川キャンパス

企画・運営 石崎 学（山形大学）、上田純平（京都大学）

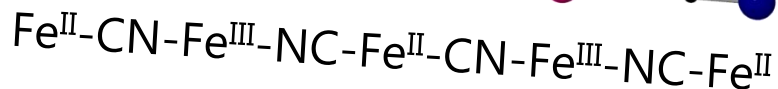
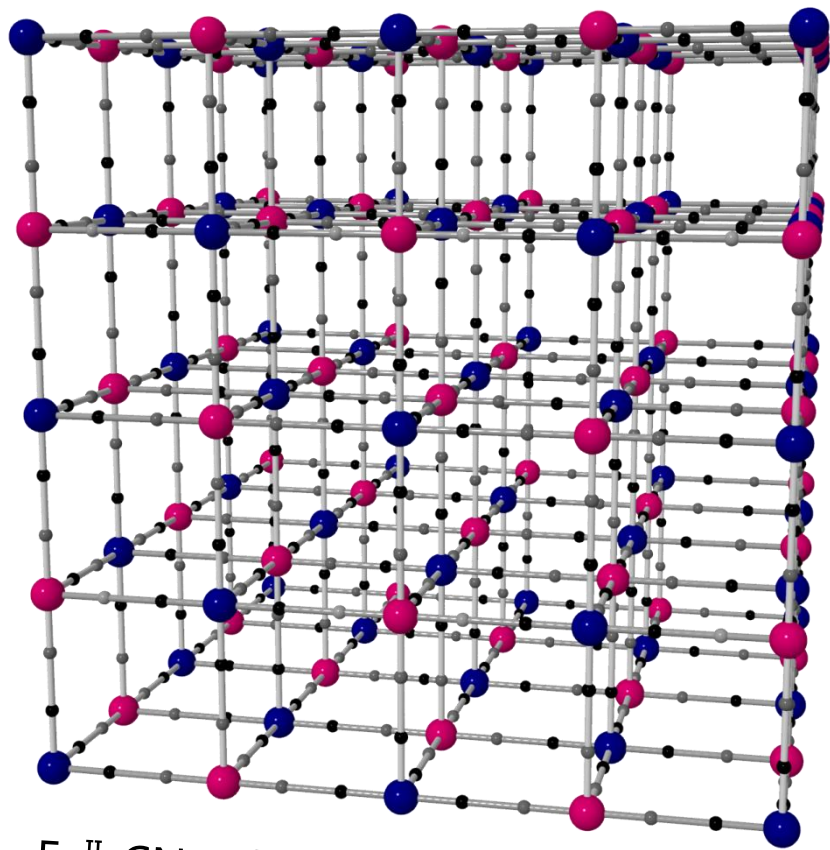
共催；第三回若手研究者のフォトニクス材料研究会、錯体化学若手の会
後援；山形大学「放射光で切り拓く地域創生研究拠点」YU-COE(C)、
日本化学会、錯体化学会、日本セラミックス協会

理工系



*日本学術振興会「系・分野・分科・細目表」より

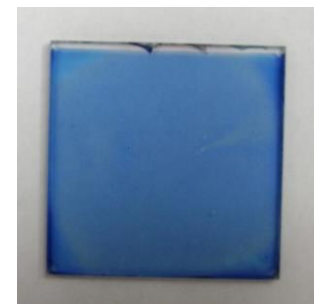
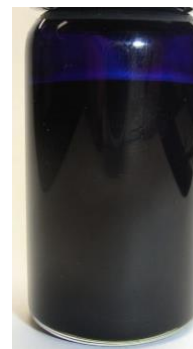
プルシアンブルー(Prussian blue, PB)



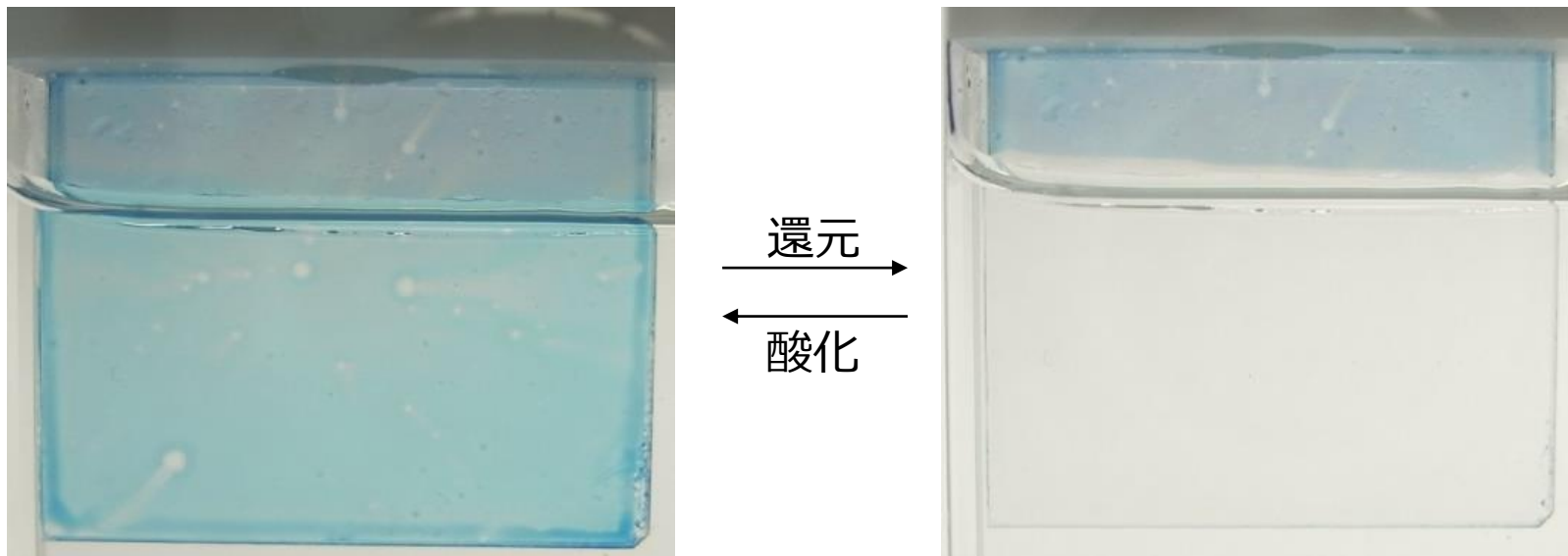
ナノジャングルジム！？



- ・青色顔料
 - 富嶽三十六景 (葛飾北斎)
 - 星月夜 (ゴッホ) など
- ・セシウム吸着材



- ・加工性の向上
- ・複合材料への展開



応用

- 電子ペーパー
- 二次電池
- 固体電解質 など

300年前に見つかった古い材料が、
現代に欠かせない材料へと生まれ変わる!?

平成28年10月18日

山形大学

山形・ポローニャ戦略的文化交流プロジェクトについて

イタリア人研究者とともに博物館と文化資源の活用について考えるシンポジウムを開催します

山形・ポローニャ戦略的文化交流プロジェクト（ポルティコの街・ポローニャに学ぶ） シンポジウム「博物館改革と文化資源の活用ーイタリアの事例に学ぶ」

- 日時 平成28年11月2日（水）16:30～18:00
- 会場 山形大学基盤教育1号館132教室
- 報告者 マウロ・フェリコーリ（Mauro Felicori）
（イタリア文化財省カゼルタ宮殿（世界遺産）の総責任者（イタリア文化財省所属））
小山清人（山形大学長）
- コーディネーター 山本陽史（山形大学学術研究院 教授）
- タイムテーブル 16:30～17:20 「イタリア国立博物館の改革」マウロ・フェリコーリ氏
（講演は英語 逐次通訳有）
17:20～17:30 「山形大学附属博物館の改革と地域への貢献」小山学長
17:30～18:00 ディスカッション
- 主催 山形大学／チェントロ・ポルティコ研究会／山形大学国際事業化研究センター
山形文化遺産活用事業実行委員会
- 後援 山形市・公益財団法人山形県国際交流協会
- その他 山形市役所において山形市長とのシンポジウムも開催されます
（11月4日（金）14:00～15:30・要事前申込）
本シンポジウムは平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト」（主催：山形文化遺産活用事業実行委員会[事務局：山形大学附属博物館]）の一環です

（お問合せ先）

山形文化遺産活用事業実行委員会

[事務局：山形大学附属博物館]

電話 023-628-4930

E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ポルティコの街ボローニャに学ぶ

Mauro Felicori



講演

マウロ・フェリコーリ

世界遺産「カゼルタ宮殿」(イタリア)の総責任者
(イタリア文化財省所属)
前ボローニャ市経済プロモーション局長

山形・ボローニャ戦略的文化交流プロジェクト
シンポジウム

博物館改革と文化資源 の活用 - イタリアの事例 に学ぶ



報告者 小山清人 山形大学長

2016年 11月2日(水) 16:30 ~ 18:00
山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館132教室

タイムテーブル

16:30~ イタリア国立博物館の改革
マウロ・フェリコーリ氏
英語による講演・**逐次通訳有**

17:20~ 山形大学附属博物館の改革と
地域への貢献
小山清人 学長

17:30~ ディスカッション
コーディネイター
山本陽史 (山形大学学術研究院教授)

聴講は無料です
駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合いまたは
シャトルバス(山形駅16:00発小白川行)をご利用ください

事前お申し込みは不要です

お問合せ 山形文化遺産活用事業実行委員会
(事務局 山形大学附属博物館)

TEL 023-628-4930

主催 国立大学法人山形大学 チェントロ・ポルティコ研究会
山形文化遺産活用事業実行委員会
後援 公益財団法人山形県国際交流協会 山形市

山形市創造都市推進事業
シンポジウム

イタリア・ボローニャ市に学ぶ ユネスコ創造都市ネットワーク への取り組み



報告者 佐藤孝弘 山形市長

2016年 11月4日(金) 14:00 ~ 15:30
山形市役所大会議室(山形市庁舎11階)

タイムテーブル

14:00~ 山形市の取り組み
佐藤孝弘 市長

14:20~ 創造都市ボローニャの取り組み
マウロ・フェリコーリ氏
英語による講演・**逐次通訳有**

15:10~ ディスカッション
コーディネイター
山本陽史 (山形大学学術研究院教授)

聴講は無料です
山形市役所の駐車場がご利用になれます

事前にお申し込みが必要です

裏面をご覧ください、お名前と参加人数を下記まで
お知らせください

お申込み/お問合せ 山形市文化振興課
TEL 023-641-1212 (内線638) FAX 023-624-9618
E-mail bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp

主催 山形市 チェントロ・ポルティコ研究会
後援 公益財団法人山形県国際交流協会 国立大学法人山形大学

FAX 023-624-9618

山形市文化振興課

11月4日（金）シンポジウム

「イタリア・ボローニャ市に学ぶユネスコ創造都市ネットワークへの取り組み」

申 込 書

下記の項目を記入し、ファックスでお送りください。

メールでのお申し込みも受け付けます。その際下記の内容をメール本文に記入するか、下記に記入したものを撮影してメールに添付して送付してください。

(bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp まで)

電話でのお申し込みも受け付けます。(TEL 023-641-1212 (内線 638))

名前 Full name	申し込み人数 How many people?
電子メール E-mail	
住所 Address	
電話番号 Phone Number	

※個人情報は、本事業を実施するための連絡にのみ使用します。

お問合せ

山形市企画調整部文化振興課

〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25 TEL 023-641-1212 (内線638)

E-mail bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp

平成28年10月18日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 株式会社山形新聞社と山形大学との協定締結について

山形大学は、地域（地方）創生の推進を図ることを目的として、株式会社山形新聞社と連携協定を締結いたします。協定締結式を次のとおり行います。

日時：平成28年10月25日（火）16:00-16:30

場所：山形グランドホテル 8階アドリア

2. NASA/MSFCとの国際共同研究がJAXAに承認されました

山形大学を中心とする日本の研究チームは、昨年度からNASA/MSFC（マーシャル宇宙航空センター）やニューハンプシャー大学と共同でガンマ線バーストの謎を解き明かす共同研究『LEAP』を行ってきました。

この研究をさらに加速するため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）にワーキンググループの設置を申請していましたが、平成28年10月4日にワーキンググループとして正式に承認されました。

3. 日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス 2016 特別講演・市民講

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクスは、スポーツを中心とした人間の余暇活動を豊かにすることを目的として、従来の機械工学と人間のダイナミクスを統合した新しい機械工学の分野です。

11/9～11の3日間、山形テルサで開催される本学術講演会に合わせて、2件の市民公開講座を企画しました。

■「計算知能とMRJ」

大林 茂 教授（東北大学流体科学研究所 所長）

日時：平成28年11月9日（水）18:30～19:30（予定）

場所：山形テルサ（山形市）3階アプローチ

参加費：無料（事前申込み不要）

■「日本機械学会リオパラリンピックサポート特命チームの日本選手活躍への貢献」

中島 求 教授（東京工業大学工学院 システム制御系）

日時：平成28年11月10日（木）17:30～18:30（予定）

場所：山形テルサ（山形市）3階アプローチ

参加費：無料（事前申込み不要）

4. 山形大学保健管理センター公開講座の開催について

「難治性ウイルス感染症と新規治療法」山形大学保健管理センター所長 富樫 整

日時：平成28年11月15日（火）18:00～19:30

場所：山形大学基盤教育2号館 221教室

受講料：無料

5. 地域教育文化学部音楽芸術コース 音楽研究会「第67回定期演奏会」を開催します

日時：平成28年11月3日（木・祝）16：00開演（15：30開場）

場所：山形テルサ テルサホール（JR山形駅西口より徒歩3分）

入場料：500円（当日券あり、未就学児童 無料）

6. 第6回安達峰一郎記念世界平和弁論大会の開催について

安達峰一郎の出身地である山辺町と共催で、全国から選ばれた中高生の弁論大会を開催します。

日時：平成28年11月12日（土）13：00－17：30

場所：基盤教育2号館222教室

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎山形大学キャンパスコンサート 2016

今年度は音楽芸術コースの学生及び大学院生が、長井市出身の紺野陽吉の作品、民話を題材としたオペラ、ピアノ連弾という三つのプログラムを用意しました。（会場：山形大学文化ホール、入場料：無料）、

- ・第2回 オペラで楽しむ日本の民謡 －林光作曲《あまんじゃくとうりこひめ》－

平成28年11月19日（土） 13：00～

- ・第3回 2台ピアノの饗宴 －6人で奏でる名曲の調べ－

平成28年12月10日（土） 13：00～

平成28年10月18日
山形大学

株式会社山形新聞社と山形大学との協定締結について

山形大学は、地域（地方）創生の推進を図ることを目的として、株式会社山形新聞社と連携協定を締結いたします。

山形大学は、「地方創生」への取り組みを支援するため、窓口を設置し、各自治体や企業等との連携を推進してきました。

この度、相互の緊密な連携と協力により、地域（地方）創生の推進を図ることを目的として、株式会社山形新聞社と協定を締結いたします。

（連携協力事項）

- ① 地域社会の課題解決と発展に係る調査・研究に関すること。
- ② 地域社会の人材育成に関すること。
- ③ その他目的を達成するために、必要と認める事項に関すること。

上記の協定締結式を次のとおり行います。

日時：平成28年10月25日（火）16：00－16：30
場所：山形グランドホテル 8階アドリア
（山形市本町1-7-42）

（お問合せ先）
山形大学EM部社会連携課・東海林
電話 023-628-4843

平成28年10月18日
山形大学

NASA/MSFCとの国際共同研究がJAXAに承認されました

山形大学を中心とする日本の研究チームは、昨年度からNASA/MSFC（マーシャル宇宙航空センター）やニューハンプシャー大学と共同でガンマ線バーストの謎を解き明かす共同研究『LEAP』を行ってきました。

この研究をさらに加速するため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）にワーキンググループの設置を申請していましたが、平成28年10月4日にワーキンググループとして正式に承認されました。

➤ これまでの経緯

ガンマ線バーストとは宇宙最大の爆発現象です。発見から50年が過ぎようとしていますが、その詳細なメカニズムは解明されていません。解明のための大きな鍵を握るのがガンマ線の偏光観測です。この偏光観測を通してガンマ線バーストの謎に挑むため、昨年度から山形大学の郡司研究室ではNASA/MSFCやニューハンプシャー大学と共同で、宇宙ステーションにガンマ線バースト偏光度検出器を搭載するための研究を行ってきました。この研究計画はLEAP(LargE Area burst Polarimeter)と呼ばれており、今年12月にNASA本部（アメリカ航空宇宙局）にLEAP計画実現のための申請書を提出するため、現在はその準備を行っています。

➤ ワーキンググループを設置する意義

今回、郡司研究室を中心とする日本の研究チームは、JAXAにLEAP計画のためのワーキンググループ設置を申請していましたが、10月4日にその申請が受理されました。それにより、JAXAからサポートを受けながらLEAP計画を遂行する事ができるようになりました。

今後は、JAXAでのプロジェクト化を目指し、研究を継続してまいります。JAXAから国内でのバックアップを得たことにより、研究遂行に向けた大きな推進力となると期待されます。

(お問合せ先)
学術研究院・教授
郡司修一(宇宙物理学)
電話 023-628-4555

平成28年10月18日
山形大学

日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2016

特別講演・市民公開講座

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクスは、スポーツを中心とした人間の余暇活動を豊かにすることを目的として、従来の機械工学と人間のダイナミクスを統合した新しい機械工学の分野です。

2016年度の本学術講演会は、11/9～11の3日間、山形テルサで開催されます。初日と2日目の夕方、2件の市民公開講座を企画しました。ご都合がよろしければ、お越しください。

◆11月9日（水）

「計算知能とMRJ」 大林 茂 教授（東北大学流体科学研究所 所長）

最近マスコミで騒がれている人工知能とは、計算によって知的な情報処理を実現する計算知能のことである。本講演では、計算知能の概要を紹介しつつ、昨年11月に初飛行を成功させた国産旅客機MRJへの応用について紹介する。

日 時：平成28年11月9日（水） 18:30～19:30（予定）

場 所：山形テルサ（山形市）3階アプローチ

参加費：無料（事前申込み不要）

◆11月10日（木）

「日本機械学会リオパラリンピックサポート特命チームの日本選手活躍への貢献」

中島 求 教授（東京工業大学工学院 システム制御系）

史上最多のメダルが獲得され、成功裏に終了したリオデジャネイロパラリンピックであるが、日本選手の活躍の裏では、日本機械学会の特命チームによる極秘のサポート活動がなされていた。その内容について紹介する。

日 時：平成28年11月10日（木） 17:30～18:30（予定）

場 所：山形テルサ（山形市）3階アプローチ

参加費：無料（事前申込み不要）

※詳しい情報は、こちらのHPをご覧ください。

<http://www.jsme.or.jp/conference/shdconf16/>

（お問合せ先）

学術研究院・教授 瀬尾和哉研究室内

SHD2016事務局

023-628-4350

シンポジウム：
日本機械学会 スポーツ工学・
ヒューマンダイナミクス2016



JSME Symposium:
Sports engineering and Human Dynamics 2016

2016年11月9日(水)～11日(金) 山形テルサ(山形市)

特別講演・市民開放行事(どなたも無料で聴講頂けます)

11/9(水)、18:30～19:30(予定)

計算知能とMRJ

大林 茂 教授(東北大学流体科学研究所 所長)

最近マスコミで騒がれている人工知能とは、計算によって知的な情報処理を実現する計算知能のことである。本講演では、計算知能の概要を紹介しつつ、昨年11月に初飛行を成功させた国産旅客機MRJへの応用について紹介する。

11/10(木)、17:30～18:30(予定)

日本機械学会リオパラリンピックサポート特命チームの
日本選手活躍への貢献

中島 求 教授(東京工業大学工学院 システム制御系)

史上最多のメダルが獲得され、成功裏に終了したリオデジャネイロパラリンピックであるが、日本選手の活躍の裏では、日本機械学会の特命チームによる極秘のサポート活動がなされていた。その内容について紹介する。



実行委員長：瀬尾和哉(山形大学地域教育文化学部)

問合せ先：〒990-8560 山形市小白川1-4-12

山形大学地域教育文化学部 瀬尾和哉研究室内 SHD2016事務局

E-mail: seo@e.yamagata-u.ac.jp TEL: 023-628-4350

企画：(社)日本機械学会 スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門

協賛：日本スポーツ産業学会、計測自動制御学会、日本体育学会、日本ゴルフ学会、日本人間工学会、日本バイオメカニクス学会、バイオメカニズム学会、自動車技術会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本生体医工学会、日本感性工学会、国際スポーツ工学会

平成28年10月18日
山形大学

山形大学保健管理センター公開講座の開催について

ウイルスは、遺伝子情報を担う核酸（DNAまたはRNA）とそれを包み込む蛋白質の殻で構成されています。ウイルスは、遺伝子情報のみを有する生物であり、増殖するためには宿主細胞に寄生しなければなりません。ウイルスの増殖により、様々な病気が起こります。

細菌感染症は抗生物質の発明によりその治療法は画期的に進歩いたしました。ウイルス感染症に対する治療薬の開発は未だ途上にあります。今回の公開講座においては、エイズやC型肝炎などの難治性ウイルス感染症の現状を概説すると同時に新規治療法を紹介し情報提供の場にしたいと考えております。

1. 日 時 : 平成28年11月15日(火) 18:00~19:30
2. 場 所 : 山形大学基盤教育2号館 221教室
3. 対象者 : 本学学生、職員、一般市民
4. 募集人数 : 100人
5. 受講料 : 無料
6. 演題及び講師 : 「難治性ウイルス感染症と新規治療法」
山形大学保健管理センター所長 富 樫 整
7. 申込み : 電話・FAX・Eメールで保健管理センターへ

(お問い合わせ先)

山形大学保健管理センター事務室

電話 : 023 (628) 4153

FAX : 023 (628) 4157

E-mail: gshosastu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

難治性ウイルス感染症と 新規治療法

ウイルスは、遺伝子情報を担う核酸（DNAまたはRNA）とそれを包み込む蛋白質の殻で構成されています。ウイルスは、遺伝子情報のみを有する生物であり、増殖するためには宿主細胞に寄生しなければなりません。ウイルスの増殖により、様々な病気が起こります。

細菌感染症は抗生物質の発明によりその治療法は画期的に進歩いたしました。ウイルス感染症に対する治療薬の開発は未だ途上にあります。今回の公開講座においては、エイズやC型肝炎などの難治性ウイルス感染症の現状を概説すると同時に新規治療法を紹介し情報提供の場にしたいと考えております。奮ってご参加くださいます様お願い申し上げます。

【日時】 11月15日（火） 18:00~19:30

【場所】 基盤教育2号館 221教室

【対象】 一般市民、大学職員、学生 100名

受講料：無料

申込先・問合せ先

山形大学保健管理センター事務室

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

電話 023-628-4153（平日 8時30分~17時）

FAX 023-628-4157

平成28年10月18日
山形大学

地域教育文化学部音楽芸術コース 音楽研究会 「第67回定期演奏会」を開催します。

この演奏会は、企画から運営まで学生が主体となり運営しています。これまで専攻や学年を問わず、お互いに切磋琢磨しながら練習を重ねてきました。まだまだ未熟な点も多々ありますが、是非足をお運びください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

◆第67回定期演奏会

日 時：平成28年11月3日（木・祝）16：00開演（15：30開場）

場 所：山形テルサ テルサホール（JR山形駅西口より徒歩3分）

入場料：500円（当日券あり、未就学児童 無料）

プログラム：2つのモテット op. 74/J. ブラームス

大学祝典序曲 作品80/J. ブラームス

交響曲第5番ハ短調作品67「運命」/L.v.ベートーヴェン

※開場後、ロビーにてロビーコンサートを行います。

※プレイガイド：富岡本店・山形プレイガイド・辻楽器店・リバティ楽器・
八文字屋

（お問合せ先）

音楽研究会

TEL 080-1665-2915（仙台）

yamagata.u.musica@gmail.com

第67回

定期演奏会

合唱指揮 藤野祐一(山形大学教授)

管弦楽指揮 渡辺修身(山形大学准教授)



2016年 **11月3日** (木・祝) 16:00開演 / 15:30開場

会場 / 山形テルサ テルサホール (JR山形駅西口より徒歩3分)

■ 入場料 / 500円 (当日券あり・未就学児童 無料)

～ Program ～

J.ブラームス

2つのモテット op.74 より

1. Warum ist das Licht gegeben dem Mühseligen?
2. O Heiland, reiß die Himmel auf

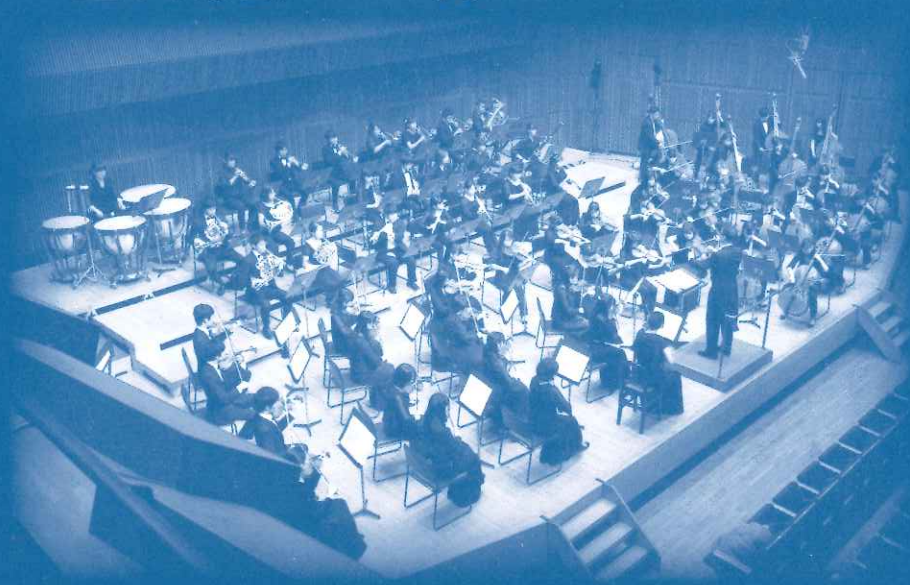
J.ブラームス

大学祝典序曲 ハ短調 作品80

L.v.ベートーヴェン

交響曲第5番 ハ短調 作品67

『運命』



■ 主 催 / 山形大学 地域教育文化学部 音楽芸術コース 音楽研究会

■ プレイガイド / 富岡本店・山形プレイガイド・辻楽器店・リバティ楽器・八文字屋

■ お問い合わせ / TEL.080-1665-2915(仙台) yamagata.u.musica@gmail.com



第6回 安達峰一郎記念

文部科学省後援

世界平和弁論大会

2016年

全国から本選に選ばれた、
20名の中・高生の声に耳を傾けよう！

11月12日(土)

参加無料(申込不要)

13:00~17:30

山形大学小白川キャンパス

基盤教育2号館 222教室

当日優秀者を囲んだ夕食会「優秀者を囲む夕べ」を開催致します。こちらにも是非ご参加下さい。

優秀者を
囲む夕べ

会場: 山形国際ホテル
時間: 18:00~20:00
参加費: 6,000円
申込〆切: 11月4日(金)

★松浦恵さんコンサート(伴奏 宮腰まい子さん)

★山辺町ママさんコーラス「やまのべ女声合唱団」の合唱



後援: 文部科学省、山形県、山形市、長崎市、山形新聞・山形放送、河北新報社、朝日新聞山形総局、読売新聞山形支局、毎日新聞山形支局、株式会社テレビユー山形、ふすま同窓会

協賛: 山形建設(株)、(株)荘内銀行ふるさと創造基金、(株)シェルター、(株)千歳建設、寶光院、(株)山形銀行、山形パナソニック(株)、トヨタカローラ山形(株)、弘栄設備工業(株)、(株)三陽製作所、(株)きらやか銀行、安国寺、坂部印刷(株)、柏書房(株)、香道大枝流主宰三品隆昭、(株)カキザキ、山形国際ホテル

問合せ 山形大学都市・地域学研究所 TEL・FAX 023(628)4871,4917

主催: 山形大学都市・地域学研究所 / 山形県山辺町 / NPO 法人山形の魅力再発見プロジェクト




第6回大会
安達峰一郎記念世界平和弁論大会
2016年11月12日(土) 13:00~
puresu
予選通過者発表

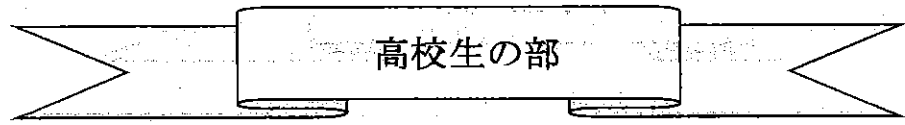
中学生の部

氏名	学校名	学年	論題
田口 優実	山形市立第十中学校	1年	父のメッセージ
永井 瑞	山形大学附属中学校	2年	国境を越えて未来を論じよう
佐々木 千晶	山形大学附属中学校	3年	国境を超えたつながり
井上 珠緒	山形大学附属中学校	3年	小さな平和への第一歩
鈴木 ヒカル	山形大学附属中学校	3年	「戦争」を知るとは
渡邊 菜々子	山形市立第一中学校	2年	音色が私にたくしたもの
堂本 亮太	立命館慶祥中学校	3年	平和を考える、意識と行動
栗野 愛望	山形市立第十中学校	1年	「礼の心」を伝えたい
伊藤 碧子	山形大学附属中学校	2年	ギブ・アンド・ギブ
阿部 由佳	山形大学附属中学校	3年	「平和」
齋藤 陽	山形大学附属中学校	3年	真の「幸せ」とは何か
松本 愛未	山形大学附属中学校	3年	国境を超えて助けるということ
丹 菜々美	山形市立第四中学校	2年	後悔から気づいたこと
峯田 あみ	山辺町立山辺中学校	3年	「知る」





第6回大会
安達峰一郎記念世界平和弁論大会
2016年11月12日(土) 13:00～
予選通過者発表



高校生の部

氏名	学校名	学年	論題
糸井 あかり	群馬県私立共愛学園高等学校	3年	安達峰一郎博士の足跡を重ねて!
鈴木 悠由	山形県立山形西高等学校	1年	手話を習い始めて
利根 慎之介	福岡県八女学院高等学校	2年	アイドルの命と伸治郎翁の命から
海野 貴之	茨城県立太田第一高等学校	1年	未来への伝言～戦争をどう残すか～
渡辺 貴美子	関東学園大学附属高等学校	2年	だから歩いてゆくんだね
田沼 優奈	関東学園大学附属高等学校	2年	73億人の経験
高橋 舞羽	北海道札幌旭丘高等学校	3年	平和の大切さを実感すること
大道 和人	茨城県立水海道第一高等学校	1年	社会を変える力
一瀬 亜海	山梨英和高等学校	2年	これからも戦争のない国へ
松本 茉唯	宮城県築館高等学校	3年	「当たり前」の意味

